

富良野獅子舞・越中伝承山部獅子舞（コラム「まちの貴重な文化財」）

読みもの・コラム

投稿者：：

Posted on：2022-1-1 0:00:00

広報ふらの・コラム「まちの貴重な文化財」No.7

1月号で紹介するのは富良野獅子舞・越中伝承山部獅子舞です。



富山県から伝わる2つの獅子舞

獅子舞は、神事やハレの日などに舞う伝統的な民俗芸術で、江戸時代以降日本各地に広まりました。市内には、富良野と山部の2つの獅子舞が保存団体によって伝承されています。どちらも富山県からの入植者が伝承した獅子舞で、同県には今も数多くの獅子舞が各地域で守り伝えられています。富良野獅子舞は北陸地方独特の多人数で舞う重厚勇壮な百足獅子です。1909年に砺波市五郎丸出身の入植者らが北大第八農場の成慶を祝い、中五区の天満宮で初演しました。山部獅子舞は伊勢神楽の流れを汲む伝統的な二人立ちの獅子舞で、入善町新屋の出身者が1950年に山部神社祭に奉納したのが始まりです。新屋の神楽獅子舞と天狗舞をアレンジしたストーリー仕立ての軽快な獅子舞で、HP「獅子魂」やYouTubeで公開されている母村の富山で伝承される獅子舞と共通点や違いを探してみると面白いです。獅子舞で邪気を祓い、万福の新しい年をお迎えください。

富良野市博物館 42 - 2407